

10/6 交通安全を呼びかけました

6 ライオンズクラブ交通安全旗の波運動

沼田ライオンズクラブ（生沼篤司会長）と沼田自動車学校（宮脇浩三校長）、コーミ北のほたるファクトリー（川澄亮太社長）、深川警察署沼田警察庁舎（有田敬所長）が10月6日（木）合同で交通安全街頭啓発活動を沼田小学校前の国道275号線で行いました。

参加した32名は「スピードダウン」や「シートベルト着用」と書かれた旗を持ち、車へ呼びかけたほか、通行する車にトマトジュースを配布し、交通安全を呼びかけました。



10/6 興味のある職業を体験しました

6 中学2年生職業体験

中学生のキャリア教育を目的とした職業体験が、町内の事業所11ヶ所の協力で行われ、中学2年生の25名は、ほろしん温泉ほたる館やD a* マルシェなどの各事業所で職場体験を行いました。

D a* マルシェでは、栗中徠君、鵜野尋斗君の2人が、実際に商品をバックヤードから運ぶ体験をし、商品棚へ陳列していきました。体験した栗中徠君は「商品の賞味期限など間違えてしまったら大変なことなのでとても重要な仕事だと思った。」と話していました。



10/9 残り少ない秋を楽しみました

9 ほろしんの森を楽しみました

秋晴れの中、ほろしん温泉ほたる館付近のほろしんの森で、10月9日（日）「ほろしんの森マルシェ」と「森のようちえん」が開催されました。

マルシェでは地元の野菜が販売され、販売者から一つ一つの野菜の説明を受けながら多くの方が沼田町産の野菜を購入していました。また、近隣の地域おこし協力隊らによるミニコンサートも開かれ、森の中で聞くメゾソプラノシンガーとシンセサイザーの演奏によるスタジオジブリの音楽が心を和ませました。



町内から来た50代男性は「自然の中で聞く音楽は、とても心地よいです」と、残り少ない秋を楽しんでいました。

10/11 農業体験、最後の行程 11 小学5年生脱穀・粃摺り体験

小学5年生（14名）が5月に田植えをし、稲刈りとはさがけをした稲の脱穀・粃摺り体験を10月11日（火）行いました。

児童達は自分達で刈り取りを行った稲を手に取り、順番に脱穀作業に取り掛かりました。初めて体験した児童は職員に手を添えてもらいながら、慎重に作業を進め、粃を落としていました。

脱穀後は自分で脱穀した粃を粃摺り機に入れる作業を行い、玄米に仕上げました。

玄米は、精米し2キロずつに袋詰めされ、5年生に配られました。



10/12 これからも笑顔が絶えない会に 12 沼田長生クラブ創立60周年記念式典

町内に住む65歳以上の方々と構成されている沼田長生クラブ（菅沼繁会長）の創立60周年記念式典が、10月12日（水）健康福祉総合センターふれあい館で執り行われました。

開会にあたり、菅沼会長は「人生100年時代と言われており、健康で心豊かに長年の経験を活かして過ごして欲しいです。これからも笑いの絶えない会に発展させていきましょう。」と挨拶し、横山町長は、「60周年を節目に、さらに地域の高齢者社会の担い手として活躍することを願っています。」と話されました。

式典では、長生クラブでの長年の功績を讃え19名へ感謝状が贈呈されました。



10/19 エコキャップをリサイクル 19 小学生エコキャップ感謝状贈呈

沼田小学校（中川浩之校長）の児童会活動で、エコキャップを集め、リサイクル推進活動に多大な貢献を称して、特定非営利活動法人エコキャップ推進協会（矢部慎二理事長）から感謝状が10月19日（水）授与されました。

各学年4kgを目標に集められたエコキャップは36kgもの量となり、目標を大幅に越えるエコキャップを集めることができ、前期児童会長の林ゆずなさんは、「全校児童みなさんの協力のおかげでたくさん集めることができて良かったです。」と話されました。



10/22 3会場で開催 沼田町にぎわい活性化イベント2022

沼田町商工会、沼田町社会福祉協議会、沼田町中山間地域等直接支払制度推進協議会、沼田町の共催による、沼田町にぎわい活性化イベント2022が10月22日（土）、まちなかほっとタウン、暮らしの安心センターで開催されました。

まちなかほっとタウン会場では、射的や輪投げなどのこども縁日や新米すくい取り、ライスボールプレイヤーの川原悟氏による新米塩むすび実演＆プレゼントなどが行われ、暮らしの安心センター会場では、みんなの食堂やピアノコンサート、カネカ還元型コエンザイムQ10講演会の開催など、どの会場也大盛況でした。

また、沼田町商工会商業振興委員会主催の「まちなか賑わい夕市」が本通3丁目特設会場にて同時開催され、町内各商店による野菜や衣料品などの販売、お買い物抽選会などが行われ、来場した方々は、たくさんの買い物袋と景品を持ち帰っていました。



10/23 モノコックバスが登場 明日萌駅秋フェスタ

鉄道ショップ、合同会社ぽっぼや（旭川市）が主催する「明日萌駅秋フェスタ」が、10月23日（日）明日萌駅で開催されました。

明日萌駅の一般公開が行われたほか、土別軌道のモノコックバスが展示され、撮影会や体験乗車などが行われました。

札幌市から来た30代男性は、「とても楽しみにしていたイベントで、石狩沼田駅から列車に乗り留萌まで行く予定です。これからもイベントがあれば参加したい」と話し、明日萌駅を撮影したり、モノコックバスに乗車するなどイベントを満喫していました。



10/25 鈴木直道知事が沼田町を視察 なおみちカフェ

地域の創意工夫ある取り組みを知事が直接聞き、広く発信する「なおみちカフェ」が10月25日(火)行われました。

初めに鈴木直道知事は、夜高会館を訪れ、吉住淳男夜高あんどん実行委員長と渡部稔夜高あんどん保存会長から夜高あんどん祭りの説明を受け、点灯された大型あんどんの大きさに驚かれ、その後健康福祉総合センターで行われた懇談の場で、鈴木知事は、トマトジュースを飲み、「美味しい！」と大絶賛し、また、あんどんがぶつかりあう映像を見て「あんどんの魅力の一端を知れて良かったです。このお祭りの伝統と歴史ある財産を道民に知ってもらえるよう支援していきたいです。」と話されました。



10/26 この経験を大切に 介護の学び教室

介護の実習を通して、理解を深める「介護の学び教室」が、これまで町の福祉施設などに助言をいただいている介護アドバイザーの青山幸広氏らを講師に招き、中学3年生を対象に行われました。

青山氏の講義のあとの実践では、介護の必要な方を力を使いすぎずに椅子に座らせるなどの技術を習得し、生徒は介護の重要性を学びました。

また、栗山町立北海道介護福祉学校の悪七校長からの講話では「介護職になるための選択肢」などの話を熱心に聞いていました。



10/27 貴重な農業体験 元気村夢の農村塾農業体験

北空知の市町で構成される元気村・夢の農村塾(村上はるみ塾長)が毎年実施している、農業体験の受け入れが今年も行われ、今年最後となる3回目の受け入れでは京都府の高校生が240名、北空知を訪れ、沼田町では23名の生徒を受け入れました。

受入先の一つである鶴山氏の圃場では、実際の農作業で使われる機械などの見学から始まり、その後、花卉の出荷体験を行いました。初めて乗るコンバインやトラックに興味津々で生徒たちは、互いに記念撮影を行い、良い思い出になりました。



11/ 1 最先端のリモートセンシングを体験 VTOL 飛行機型ドローン実演デモ

沼田町スマート農業研究会（山岡禎弘会長）が主催する、VLOT 飛行機型ドローンによるリモートセンシングのデモ運転が行われました。

この実演は、8月25日に行われたロボットトラクター実証試験に続き行われ、今回も梶田浩孝氏（北竜2）の圃場で、最大時速 100km で事前に決められたルートを自動飛行するドローンを飛ばし、農作物の生育状況調査を行いました。

強風の中で行われた実証試験でしたが、安定した飛行で約 7 ha を周回しました。



11/ 3 交通事故のない町を目指し 令和4年度交通安全町民大会

沼田町、沼田町交通安全運動推進委員会、沼田町交通安全協会が主催する交通安全町民大会が11月3日（木）町民会館で3年ぶりに開催されました。

大会では、こども園や小学生を対象にした交通安全標語・ポスターの表彰が行われ、入賞者には町交通安全協会長の坂本久和氏より賞状が手渡されました。

表彰式終了後、深川警察署の上村大地交通課長から交通事故の危険性などの講演があり、その後、小泉英之商工会青年部長による交通安全宣言が行われ、交通事故のない町を目指して、交通安全に対する意識を参加者で再確認しました。



11/ 6 沼田の文化財に触れる 文化財見学会

教育委員会が主催する沼田町文化財見学会が11月6日（日）行われました。

この見学会は、平成30年を最後に新型コロナウイルス感染症の影響で中止になっており、4年振りの開催となりました。

本願寺駅通や永徳寺にある十一面薬師観音菩薩像などを学芸員が解説しながら見学し、参加された方は「普段見ることができない文化財を見ることができて貴重な経験になった。」と話されていました。



11/6 伝統芸能で地域に元気と笑顔を 民族歌舞団花こま沼田公演

日本の伝統芸能を披露し、日本国内外で活躍している「民族歌舞団花こま」（兵庫県）の公演が11月6日（日）町民会館で行われました。

今回は空知管内で11公演行われ、沼田町で迎えた千秋楽には約100名が集まり、獅子舞を使った寿獅子や会場の子供達と行った南京玉すだれや実際に餅をつきながら行われた餅つきばやしなどで会場は一体となり、笑顔に包まれました。

町内の60代男性は「笛の力強い音に圧倒された。こんなに楽しい公演を見ることができて良かった。」と大満足の様子でした。



体験

みんな力を合わせて共同生活

沼田っ子の夢応援（合宿通学）

小学5年生11名が参加した「沼田っ子の夢応援事業」（合宿通学）が10月19日（水）から22日（土）の間、宿泊交流センター「夢未来」で行われました。

この事業は、子ども達が施設に泊まりながら、友達との交流を深めたり、沼田町を深く知って地元愛を育む事をねらいとしています。

2日目の地域の方の講話では、ほろしん温泉ほたる館の矢部昌弘さんから、ほろしん温泉の歴史や昭和炭鉱についての講話があり、子どもたちは普段行っているほろしん温泉の歴史や、昭和炭鉱跡の施設の写真を見て興味津々でした。



中学校卓球部北海道選手権大会出場！

沼田中学校卓球部の清野瑛斗君（3年生）と中澤杏音さん（1年生）が10月14日（金）から行われた、北海道卓球選手権大会兼全日本予選会に出場しました。

清野瑛斗君は、高校2年生以下が出場するジュニアと一般の部、中澤杏音さんは、ジュニアの部に出場し、惜しくも1回戦で敗退してしまいましたが、「全道大会出場という経験を活かして、今後は全道大会での1勝を目指して、日頃の練習に打込んでいきます。」と話されていました。



沼田小学校学習発表会が開催されました!

10月15日(土) 沼田小学校の学習発表会が、昨年と同様、新型コロナウイルスの感染予防対策として、発表を低・中・高学年の3ブロックに分けて開催されました。

今年は「一致団結! 本気の沼田っ子魂で最高の感動を巻き起こせ」のテーマのもと、1年生から6年生まで全児童が練習してきた成果を十分に発揮し、一致団結して歌や踊り、劇などを披露しました。

最後の6年生の劇が終わると、6年生から「仲間と練習した発表が僕たちの宝物です。見ていただいた方々の宝物になれば嬉しいです。」と全員で挨拶しました。



1年生 - 朝学習から4時間目までそれぞれの授業をダンスや算数の問題を解いたりするなど楽しく表現しました。



2年生 - ダンスや自分の特技を披露し会場を盛り上げました。児童たちが楽しんでいる様子が会場に伝わっていました。



3年生 - 日本全国のお祭りの踊りを披露しました。息ぴったりの北海道のYOSAKOIは圧巻でした。



4年生 - 環境破壊などで地球が魔界に滅ぼされてしまうのを子供達が力を合わせ阻止するという音楽劇でしたが歌と演技の切替が見事でした。



5年生 - 流行りの音楽をランキング形式で発表しダンスを披露しました。ダブルダッチでは難易度の高い技を決め、大盛り上がりでした。



6年生 - 様々な架空の国が宝物を披露し、本当の宝物とはなんなのかという劇でしたが、圧巻の演技力で会場を劇の世界観に引き込みました。

表彰

地方自治の振興発展に大きく貢献

故 横山忠男氏に旭日単光章を伝達

町議会議員を3期12年務められ、地方自治の振興発展に大きく寄与された故 横山忠男氏に旭日単光章が、妻の花代さんへ伝達されました。

横山氏は沼田町議会議員の間、総務文教常任委員長や議会議員定数審査特別委員長を歴任されたほか、平成19年から平成23年までの4年間、監査委員として健全な行財政運営を心掛け、開かれた町政の執行に尽力されました。また、昭和62年から平成13年までの14年間は農業委員会委員として、基幹産業である農業の生産力の発展や農業経営の合理化を図るなどに尽力された功績に対し受賞されたものです。



表彰

円滑な運営の貢献に表彰

公平委員が総務大臣から表彰

沼田町公平委員会の委員として、平成19年3月から令和2年3月までの13年間務められ、平成27年からは委員長としてご活躍された大三島茂さん（旭町西）と平成20年9月から委員として、また令和2年12月からは委員長を務められている田島博幸さん（沼田4）の2名が、人事行政の円滑な運営に貢献した功績に対し、公平委員会制度70周年に当たり総務大臣より表彰を受け横山町長より伝達されました。

横山町長は「公平委員会の業務に長きにわたりご尽力いただき感謝しています。これからもご協力お願いします。」と感謝の意を述べました。



防災用組立式給水タンクを導入しました

災害が起こり、水を供給することができなくなった際の飲み水などを確保することを目的として、北空知水道企業団の構成1市4町で防災用組立式給水タンクを導入しました。

この給水タンクは組立式で、約1トンの水をためることができ2つの蛇口から水を出すことができます。

有事の際には、避難所などにこの給水タンクを設置し、避難者の飲み水の確保に備えます。

